

ウッディチキン／福井越前

『第12回 SUMMER COLLEGE2017』

『例会レポート 125』

日 程	2017年8月23日(水)～24日(木)
会 場	『仁愛大学』 (福井県越前市大手町 3-1-1 TEL0778-27-2010)
参加者数	80名
講演会内容	伊藤 豊氏 (ウッディチキン代表・ラポットカンパニー代表) 久保 華図八氏 (BAGZY 代表) 北田 礼次氏 (Re-office 代表)
宿泊	妙見山歓喜寺 (福井県南条郡南越前町清水 51-1-2 TEL0778-47-2115)



ウッディチキン事務局

文章・写真提供／向井 健介

<http://woodychicken.com>

info@woodychicken.com

12回目のサマーカレッジ。

12年前、伊藤代表が10年は続けよう！というかけ声でスタートして12年続いたサマーカレッジ。

仁愛大学の金田教授との出会いによりスタートしたサマーカレッジ in 越前。

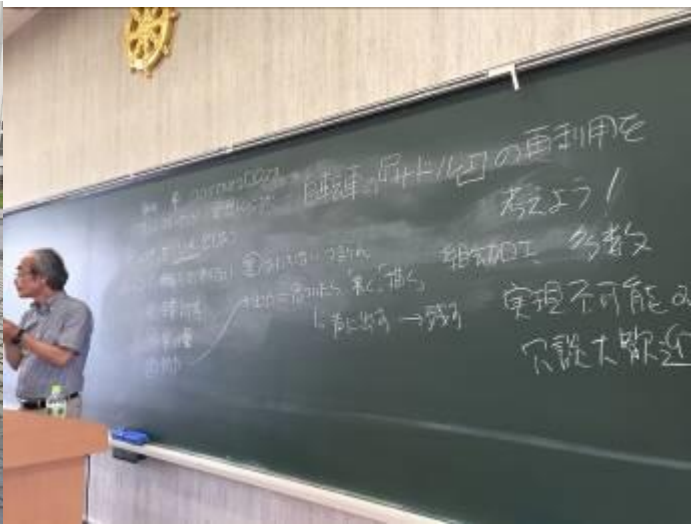
その金田教授が昨年末に癌が見つかり、闘病生活をしていましたが今年に入り他界してしまいました。仁愛大学のキャンパスを使って開催するのは今年が最後になりました。

金田先生も参加してくれていると感じながら2日間過ごしました。

いつも笑顔で学生さんと講義してくれていたのを今でも鮮明に浮かびます。

金田先生に出逢って色んなことを学びました。

本当にありがとうございました。



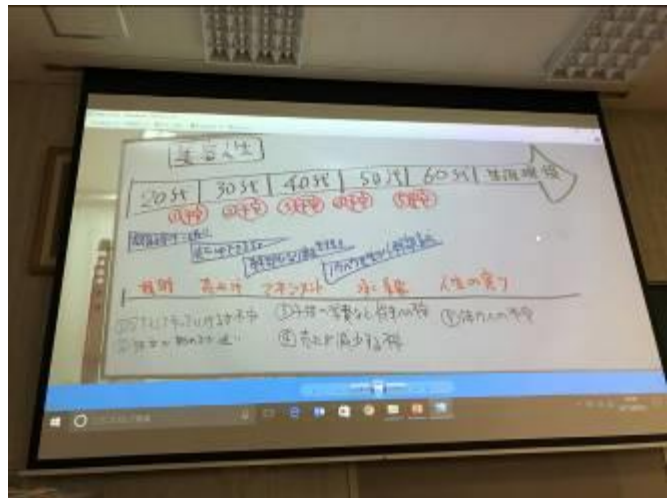
セミナー 1

伊藤代表

「本物を目指す」

これからの、ウッディの活動。原点に戻る。やはり読書が大切です。

みんなで同じ本を読み、行動に移す。



20年前ウッディをスタートした時は5人で、
全国の面白い人が集まったの飲み会がスタートだった。

会を重ねるごとに、論語や嚶鳴館遺草（おうめいかんいそう）を読んだ

嚶鳴館遺草は、上杉鷹山の師で、吉田松陰や西郷隆盛にも影響を与えた細井平洲の教え。

元祖リーダーシップの本、上司への教え、部下の心得、親の立場、他人への思いやりなど・・



例えば、お客様からの差し入れを頂いたときは、下の子からとらしてあげリーダーは最後に残った形の悪いものを頂く。（犠牲的精神の学び）

でも何回も読んでいくうちに、解釈が替わってくる。

最後に残った形の悪いものを無駄にしないということは、組織の中でも落ちこぼれを創らない。というリーダーの心の在り方だと気づく。。この本に出逢って、何年もしてから気づいた。

やはり本は深い。読み込んでいくことの大切さ。

本を読みながら行動しよう。

アジアチャイルドサポートの池間さんとの出逢い。

フィリピンの井戸を1つ（10万円から50万円）掘ると3000人ぐらいの方が助かるということでみんなで募金活動をして1年目は1000万円ぐらい集まった。

東北の震災

みんなで情報を共有して、瓦礫撤去などのボランティアをした。

それから岩手県大船渡の絆サロンプロジェクトに支援しました。お店を失ったスタイリストの方が働けるサロン。全国から集まった美容器具などで準備して設営しました。

熊本地震の支援

東北の時の経験を生かして、支援活動ができた。

災害直後は、物資をトラックで運んだ。

その後は、募金で支援しました。

熊本の現状はまだまだ大変なので、支援を続けていく。

本物でありたい、何事も継続できる強さがほしい。

サマーカレッジも10年継続できたように、

一つの物事を継続していく集団でありたい。本気の本物の集団でありたい。

フィリピンの活動

チャイルドカットから初めて、今はアエタ族のブライダルのサポートをしている。

アエタ族（原住民族）のブライダル支援

アエタ族という民族は、人口5万くらいのフィリピン先住民族で今から約400年前までは低地に住み暮らしていましたがフィリピンをスペインが植民地支配した際に争いを避け山に移住して山に住み狩猟と移動式焼き畑農法により暮らしていた民族です。

ところが1991年のピナトゥボ火山の大噴火で山に住めなくなり町に降りてきました。

ピナトゥボ大噴火とはどれくらい大きな規模だったかというと噴火の火山灰が60メートルつもり、その煙は地球1周し地球の温度が1年間0.5度下がったといわれるくらいの大噴火です。当然のことながら避難しなかったアエタ族の民も多く亡くなりました。噴火によって失った森林には獲物もいなくなり、街で何とか生計を立てなければなりません。ところが色黒、低身長、ちりちりの髪の毛…、言葉も違えば生活習慣も違う山の民…、彼らを待ち受けていたのは差別でした。最低限の賃金すらもらえない、最低層の貧民になり、ゴミ拾いや建築作業、物乞い…、生き残るための石にしがみつくような生活をしてきました。

噴火から25年を経て、山の生活を知らない若い世代のアエタが育っています。言われなき差別に耐え、わずかな賃金を貯めて人並みの生活をしようと奮闘しています。

そんな若いアエタ族も華やかな結婚を夢見るようになりました。ところが一般的なウェディング関係の業者はアエタ族を敬遠します。十分な支払いが期待できないこと、何よりも汚いと思われるアエタにウェディングドレスを貸す業者はありません。…ならば、自分たちで貸衣装を開業しよう！アエタ族のためのウェディングをプロデュースしよう！そんなコンセプトで小さな貸衣装屋ができました。この貸衣装屋の前身はアエタ開発協会というNGOです。最盛期は数千のアエタが集い、自らの権利を主張し、時の政府と戦ったアエタ族による自助組織です。時の流れと共に活動の規模と資産は小さくなり、今現在はこの貸衣装屋のみがアエタ開発協会の独自プロジェクトとして機能しています。それなりのウェディングドレスを集めました。サイズ直しをするためのミシンと技術も手に入れました。…

しかし、いまひとつ冴えないのです。イケてない…、そう言うしかありません。その理由は…、ドレスしかないからでした。ドレスに合うメイクとヘア…、これが今のフィリピンの技術では間に合いません。色黒、ちりちりすぎるヘア、一般的なフィリピン人とは違う容姿、小さな黒人と呼ばれる所以である身体的な特徴を綺麗に見せることができる技術がありませんでした。

今回からのフィリピン・ブライダルボランティアの目標は「アエタ族のブライダルを現地の人達で出来るようにする」です。

ということで、2016 年絆サロン誕生！

大阪のローターリークラブさんから寄付していただいた建物をブライダルの研修サロンにしました。

現在 10 名弱のスタッフがトレーニングしています。

カラーリング、アップスタイル、メイク、衣装などなど・・・

1 人でも自立していけるように継続していく。

2017 年は水道設備や電気設備など少しずつ充実している。今後は排水設備も整備していく。

今後のウッディについて。

今までも、これからもメーカーやディーラーさんの協賛なしで自主自立で続けている会です。

大切なのは集まって何をするのかがとても大切。

アイデアとして各支部の定例会で、研究発表会をしたらどうだろう。

何事も純粋な気持ちでスタートしたい。

毎月課題本を決めて、みんなで共有したい。

とにかく本物を目指す！

セミナー 2

久保 華図八氏 (BAGZY 代表)

「続・本物を目指す」

日本の美容業界はこれからかなり大変どんどん厳しい状況になります。

人口減＝スタッフ減 売上がなかなか上がらない。

ゆでガエル状態になっている。

強い組織は価値観を大切にしている。

ケネディー大統領が、NASA に視察に行った時の話。

清掃担当の方に、どういう仕事をしているんですか？と聞いたところ。

「月に行くお手伝いをしているんです。」

という答えが返ってきた。この返答でケネディー大統領は、NASA の組織の価値観のすごさを感じた。

車に例えると、前輪が ES (従業員満足) 後輪が CS (顧客満足)

社員のエネルギーが方向を決める

いい土を創ると、いい野菜ができる。

いい土＝風土・社風・価値観 いい野菜＝意識が高い社員

結果として、業績が上がる。

組織風土が大切

数字は嘘をつかない。

- ① 再来店率
- ② 紹介客数
- ③ 商品販売
- ④ 昨年対比



人間性の上中下

上・・・目標が高い。人を喜ばせることが好き。自分で考える。

中・・・ルールは守る。ギブ&テイク。いわれたことはする。目標が低い。

下・・・自己中心。ルールを守らない。遅刻する。

目標の高さは、見える景色が違う。高いほど多くの事が見える。

1人のお客様のライフタイムバリュー（顧客生涯価値）が大切。

長期的に一人の顧客から得られる利益を指標化したもの。生涯価値、寿命価値ともよばれ、一回の購入額に一生での購入回数に乗じたりして得る。この値が大きいほど優良顧客となる。ライフ-タイム-シェア。LTS。LTV。

本物の組織 逆ピラミッド型が大切
羊飼い型リーダー（後方支援型）

5つの柱

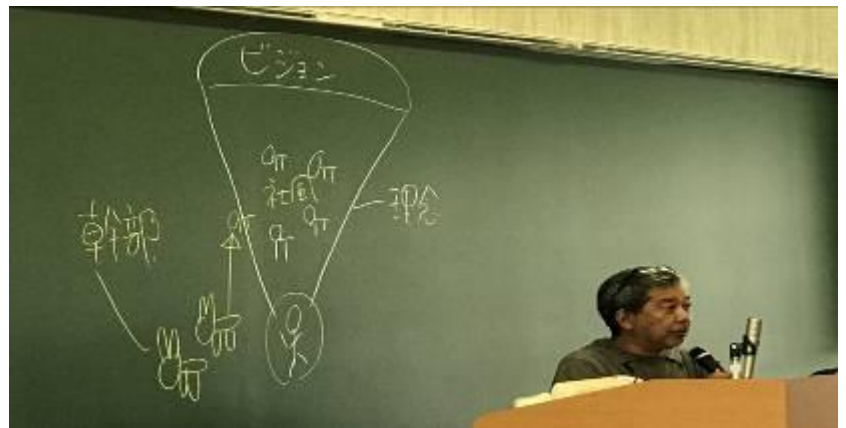
リーダー・・・人望

幹部・・・価値観が大切

スタッフ・・・社風

ビジョン・・・明確

理念・・・ゴールデンルール



セミナー3

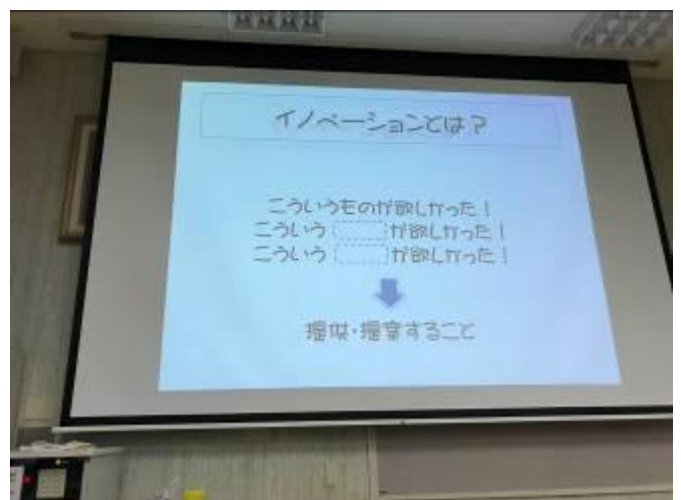
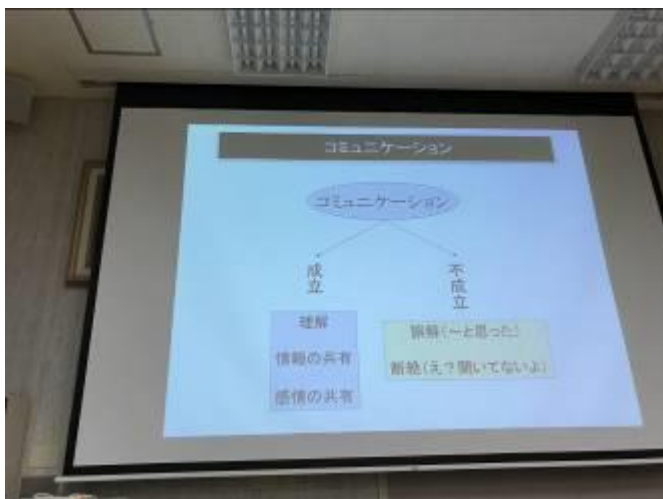
北田 礼次氏（Re-office 代表）

「まとめ・本物を目指す」

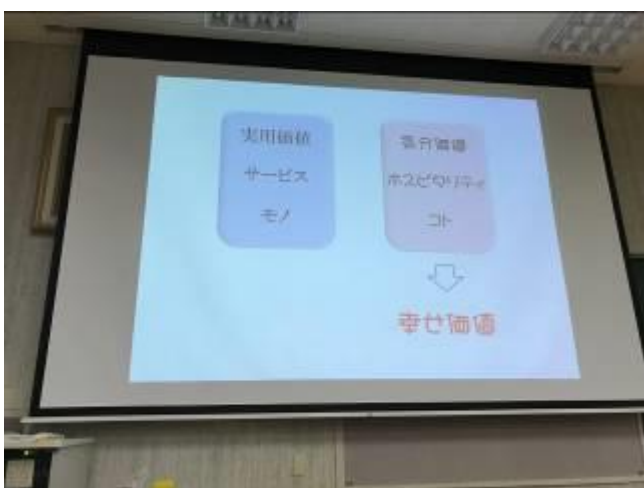
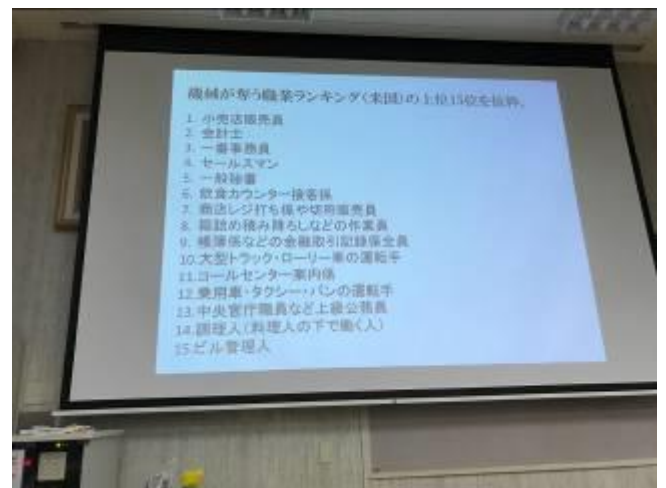
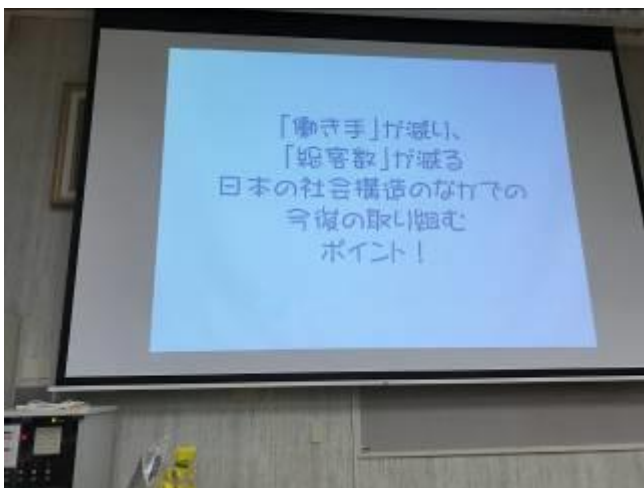
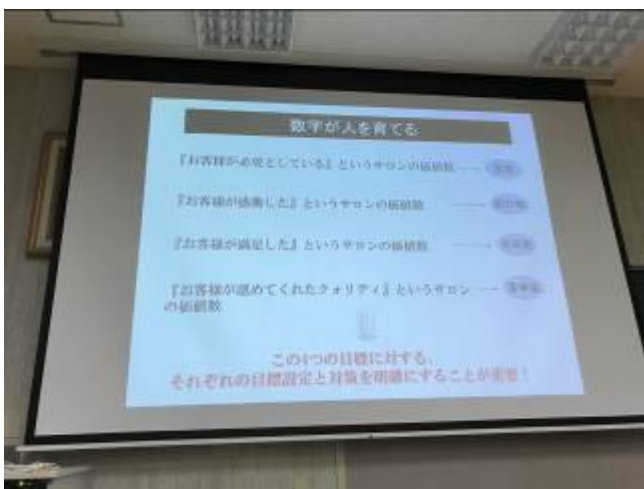
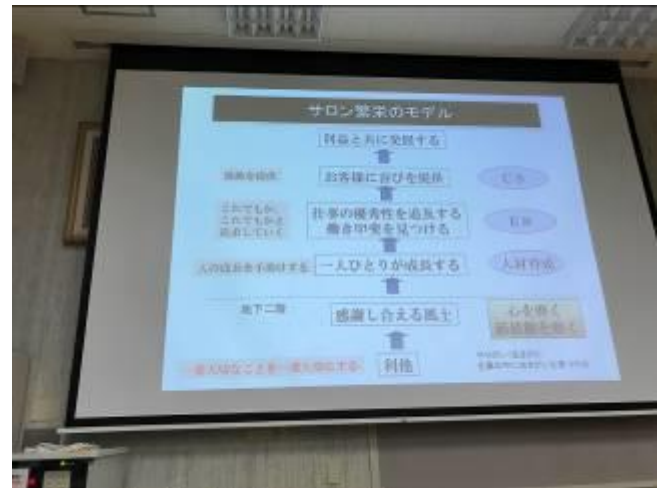
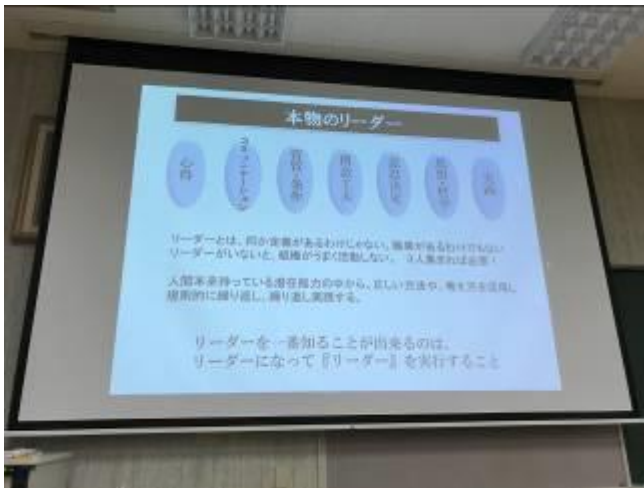
金田先生から学んだこと

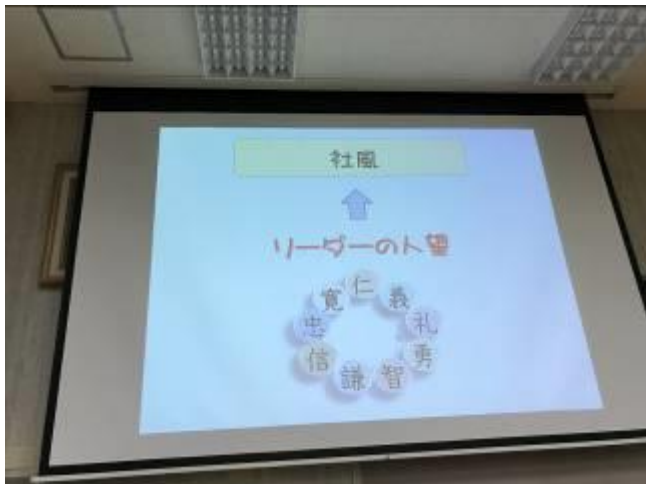
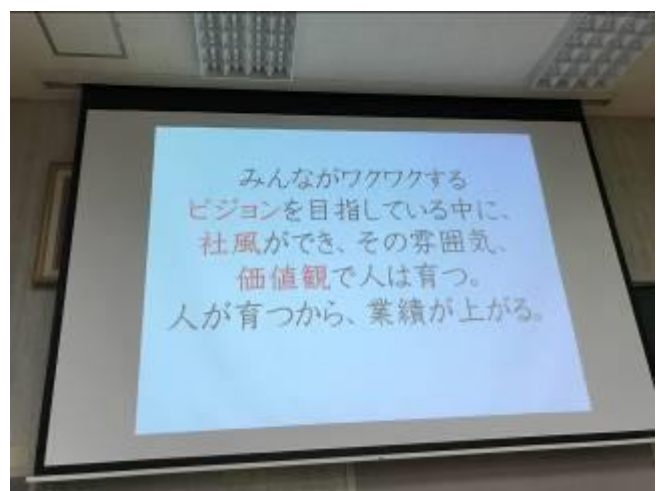
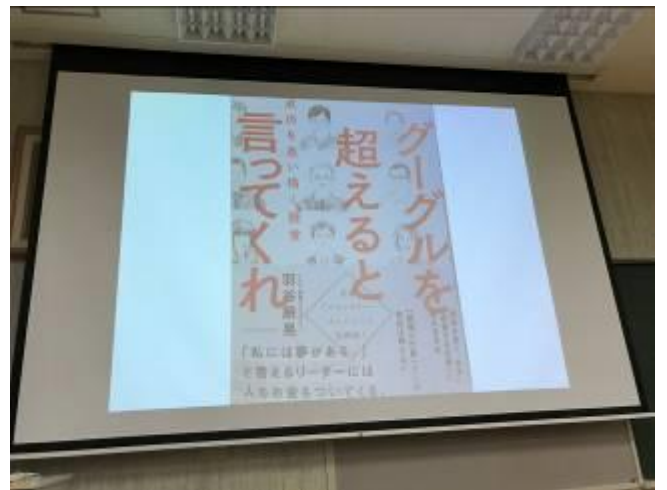
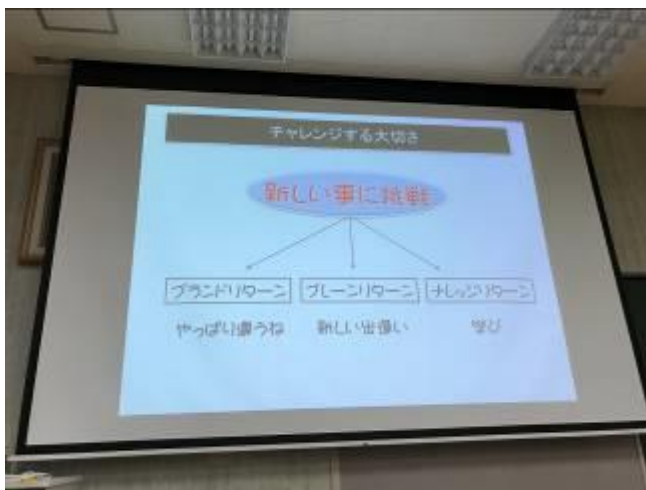
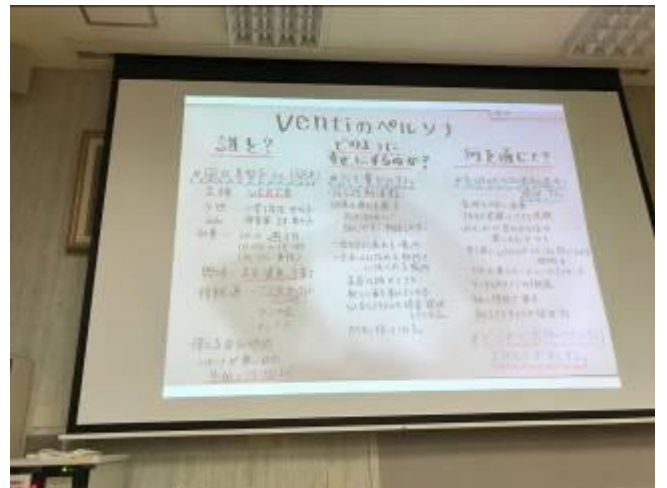
- ・コミュニケーションの共有
- ・イノベーション こういう場所や時間がほしかった。そういうものを提案提供する。

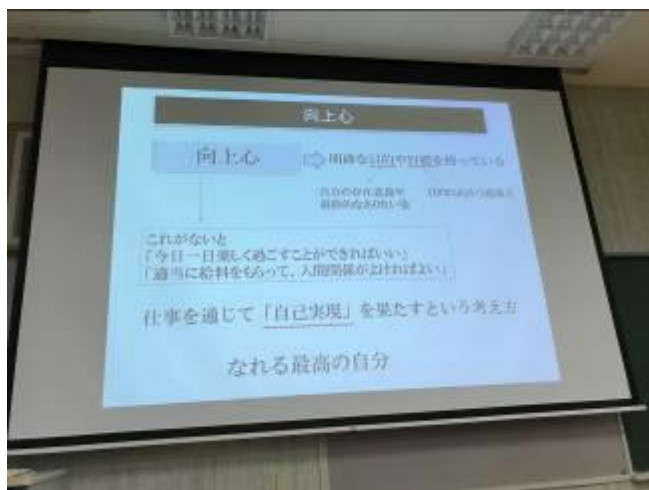
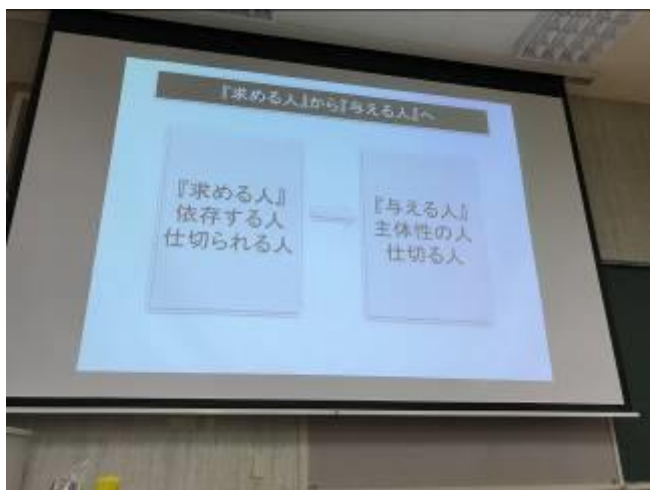
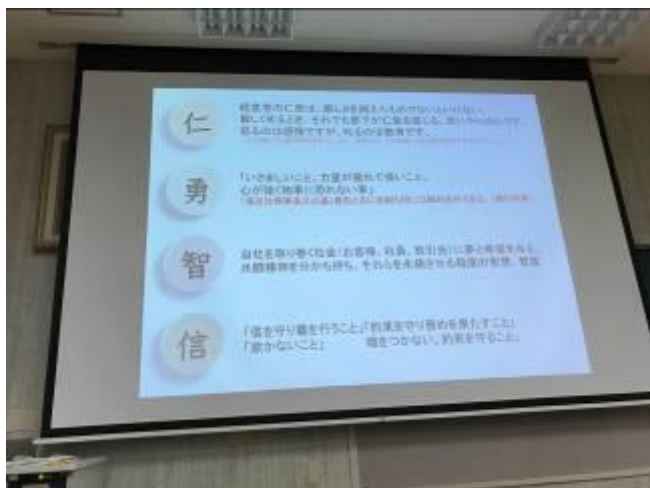
以下スライドで伊藤さんのお話と久保さんのお話を分かりやすくまとめていただきました。



伊藤代表を見ていつも思うことは。リーダーとして行動していること。いつも背中を見せてくれている。







「みんながワクワクするような
ビジョンを目指している中に
社風ができ、その雰囲気
価値観で人は育つ
 人が育つから、業績が上がる」

by 北田礼次



懇親会！

